

SAMPLE



フェアな価格 確かな信頼

バイオマス Biomass

☆RIM BIOMASS INTELLIGENCE WEEKLY

★No. 106 Mar 3 2022

Copyright (C) 2022 Rim Intelligence Co. All rights reserved.

—TOKYO, 10:00 JST Mar 3 2022<Assessment Closing Time>

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号

お申し込み >

試読 >

◎お知らせ

OPRA 原則遵守に関する検証報告書の公開

リム情報開発は2021年12月21日、証券監督者国際機構(IOSCO)により定められた石油価格報告機関(PRA)に対する原則の遵守に関しまして、合理的保証に基づく検証報告書をウェブで公開しました。当社が発刊する全ての日刊レポートが対象となります。

<対象レポート>

バンカーオイル、原油・コンデンセート、アジア石油製品(Products)、LPG、ローリーラック、ジャパン石油製品、石油化学、LNG、電力

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/pramenu4/>

◎リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均=100)

3日のレックス22は、前日から10.44ポイント上昇し178.91です

リムレポートのご紹介

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/report/>

原油・コンデンセート	アジア石油製品	バンカーオイル
ローリーラック(国内陸上)	ジャパン石油製品(国内海上)	LPG LNG
石油化学	ポリオレフィン	電力
バイオマス(週刊)	デイリーデータ	Rim Data File
クリーンエネルギー(週刊)	CROSS VIEW 軽油/重油	エネルギー通信

上記に関するお問い合わせは、TEL 03-3552-2411 E-mail info@rim-intelligence.co.jp



◎Wood Pellets(木質ペレット \$/mt)

OF0B Southeast Asia(Vietnam and Indonesia) Spot Prices for South Korea		
	Wood Pellets	Yen/mt
FOB spot prices (Apr)	115.00-125.00	13,341-14,501
FOB spot prices (May)	115.00-125.00	13,341-14,501
FOB spot prices (Jun)	115.00-125.00	13,341-14,501
OF0B Southeast Asia(Vietnam and Indonesia) Spot Prices for Japan		
	Wood Pellets	Yen/mt
FOB spot prices (Apr)	130.00-140.00	15,081-16,241
FOB spot prices (May)	130.00-140.00	15,081-16,241
FOB spot prices (Jun)	130.00-140.00	15,081-16,241
OF0B North America(including southwest Canada) Spot Prices		
	Wood Pellets	Yen/mt
FOB spot prices (Apr)	+10 180.00-190.00 +10	20,882-22,042
FOB spot prices (May)	+10 180.00-190.00 +10	20,882-22,042
FOB spot prices (Jun)	180.00-190.00	20,882-22,042
OCFR Japan Spot Prices		
	Wood Pellets	Yen/mt
CFR Japan spot prices (Apr)	180.00-190.00	20,882-22,042
CFR Japan spot prices (May)	180.00-190.00	20,882-22,042
CFR Japan spot prices (Jun)	180.00-190.00	20,882-22,042
OFreight rates		
Southeast Asia to North Asia	50.00-55.00	
North America to North Asia	55.00-65.00	
TTS=116.01(3月2日、三菱UFJ銀行)		

◎PKS (パーム椰子殻 \$/mt)		
OF0B Indonesia Spot Prices		
	PKS	Yen/mt
FOB spot prices (Apr)	+5 95.00-100.00 +5	11,021-11,601
FOB spot prices (May)	+5 95.00-100.00 +5	11,021-11,601
FOB spot prices (Jun)	95.00-100.00	11,021-11,601
OF0B Malaysia Spot Prices		
	PKS	Yen/mt
FOB spot prices (Apr)	88.00-90.00	10,209-10,441
FOB spot prices (May)	88.00-90.00	10,209-10,441
FOB spot prices (Jun)	88.00-90.00	10,209-10,441
OCFR Japan Spot Prices		
	PKS	Yen/mt
CFR Japan spot prices (Apr)	140.00-145.00	16,241-16,821
CFR Japan spot prices (May)	140.00-145.00	16,241-16,821
CFR Japan spot prices (Jun)	140.00-145.00	16,241-16,821
OFreight rates		
Southeast Asia to North Asia	50.00-55.00	
TTS=116.01(3月2日、三菱UFJ銀行)		

◎木質チップ国内市場（一般材、未利用材 Yen/mt)		
○Japan Domestic price (in Yen/mt)		
	Yen/mt	
一般材	7,500- 9,500	
未利用材	10,000-11,000	
(注記) 価格評価の対象は水分 50%前後		

◎木質ペレット

○概況

東南アジア積み木質ペレットは、韓国向け、日本向け、日本着はいずれも前週から横ばい。ただ、ロシアからの供給難に懸念を示す関係者もあり、今後の価格上昇を予想する声も聞かれた。北米積みは、堅調な欧州の需要を背景に上昇した。

OF0B 東南アジア

東南アジア積み木質ペレットは、韓国向け4～5月積みは115.00～125.00ドルと前週から横ばい。6月積みも115.00～125.00ドルとなった。

韓国南東発電(KOEN)は28日、4月11日～5月31日着5万トンの木質ペレットの買付け入札を開示した。応札の締め切りは8日。同社は先週にも5月12日～12月23日着計9万トンの買付け入札を実施。いまのところ結果は明らかではないものの、引き続き調達意欲は旺盛。既報のとおり、韓国政府はバイオマス発電に対する補助金を増額しており、一部の発電会社が買付けの動きを強めている。

日本向け4～5月積みは130.00～140.00ドルと前週から変わらず。6月積みも130.00～140.00ドルとなった。

石油メジャーのシェルやエクソンモービルが、相次いでサハリンでの液化天然ガス(LNG)プロジェクトからの撤退を発表したことで、LNG供給に対する懸念が台頭。今後、火力発電所の燃料として石炭の需要が増えた場合、混焼用として木質ペレ

ットを買い付ける動きが活発になるとの観測も浮上した。

既報のとおり、ベトナムでは欧州向けの商談が聞かれ始めている。ただ、直近で成約に至ったとの情報は浮上していない。一部の市場関係者は、欧州に運搬する際は船舶から排出する温室効果ガス(GHG)が多くなることから、調達量の増加に限りがあるとの見方を示している。これまでに東南アジアから欧州向けとして積載量が5万トンを超える大型船での運搬実績があると伝えられるものの、トンあたりのGHG排出量が多くなる1万5,000～3万トンの船舶は欧州で受け入れられない可能性もあるようだ。

ベトナムを含む東南アジアで新型コロナウイルスの感染拡大が続いているが、このところ木質ペレットの生産や供給に支障は出ていないもようだ。一方、日本や韓国を中心とした北東アジアでは新たなスポット需要は限られている。このため需給動向に大きな変化はみられない。



木質ペレット韓国向け		入札表						
社名	発電所名	積/着	積/着 時期	数量(トン)	締切日	価格(ドル/トン)	結果	落札者
KOEN	ヨンドン2号機	DDP	22年4月11日～5月31日	50,000	22年3月7日			
KOEN	ヨンドン2号機	DDP	22年5月12日～12月23日	90,000	22年2月28日			
KOEN	ヨンドン2号機	DDP	22年4月15日～8月31日	120,000	22年2月21日			
KOSPO	ハドン発電所	DDP	22年3～6月	20,000	22年2月8日			
KOEN	ヨンドン2号機	DDP	22年3月1日～3月31日	18,500	22年2月8日			
KOEN	ヨンドン2号機	DDP	22年3月1日～3月31日	50,000				
KOEN	ヨンドン2号機	DDP	22年2月1日～2月28日	50,000	22年1月18日			
KOSPO	ハドン発電所	DDP	22年3月1日～6月30日	20,000	22年1月21日			
KOEN	ヨンドン2号機	DDP	22年2月1日～3月31日	150,000	22年1月7日			
SGCエナジー(旧グンジャンエナジー)		DDP	22年1～2月	200,000		180ドル CFR		
KOEN	ヨンドン2号機	DDP	22年1月10日～3月31日	80,000	21年12月16日			
KOEN	ヨンドン2号機	DDP	22年1月10日～3月31日	140,000	21年11月25日			
SGCエナジー(旧グンジャンエナジー)		DDP	2021年11月～22年1月	200,000				
KOEN	ヨンドン2号機	DDP	22年1月10日～4月15日	110,000	21年11月15日			
KOEN	ヨンドン2号機	DDP	21年11月15日～12月31日	70,000	21年11月4日		落札	4社
KOEN	ヨンドン2号機	DDP	21年11月1日～12月31日	70,000	21年10月12日(事前審査)			
KOEN	ヨンドン2号機	DDP	21年11月29日～12月17日	25,000	21年10月12日(事前審査)			
グンジャンエナジー		DDP	21年10月～	40,000		170ドル		
KOEN	ヨンドン2号機	DDP	21年10月1～31日	30,000	21年9月15日(事前審査)			
KOSPO	サムチェク発電所	DDP	21年11月1日～12月31日	20,000	21年9月13日			
KOEN	ヨンドン2号機	DDP	21年11月15日～22年4月30日	170,000	21年9月3日(事前審査)			
KOWEPO	テアン発電所	DDP	21年9月1日～22年1月31日	15,000	21年8月17日			
グンジャンエナジー		DDP	21年8～10月	100,000	21年7月30日		落札	
KOEN	ヨンドン2号機	DDP	21年7月1日～9月30日	66,000	21年8月9日(事前審査)			
KOEN	ヨンドン2号機	DDP	21年9月13日～10月15日	25,000	21年7月2日(事前審査)			
KOSPO	ハドン発電所	DDP	21年7月1日～9月30日	66,000	21年5月24日			
KOEN	ヨンドン2号機	DDP	21年8月9日～22年6月30日	200,000	21年6月10日	100ドル半ば以下 FOB相当	落札	韓国商社1社
KOSPO	ハドン発電所	DDP	21年6～10月	40,000	21年4月29日	90ドル台後半 FOB相当	落札	
KOEN	ヨンドン2号機	DDP	21年7月12日～22年1月11日	180,000	21年4月19日		落札	韓国商社
グンジャンエナジー		DDP	2021年5～7月	120,000	21年4月2日	90ドル程度 FOB相当	落札	韓国商社
グンジャンエナジー		DDP	2021年4月	100,000		90ドル程度 FOB相当	落札	韓国商社
KOSPO	サムチェク発電所	DDP	21年3月22日～6月30日	5,000	21年3月2日		落札	
KOEN	ヨンドン2号機	DDP	21年3月8日～3月31日	22,000	21年2月24日		落札	
KOSPO	サムチェク発電所	DDP	21年3月22日～6月30日	15,000	21年2月22日		落札	
KOSPO	サムチェク発電所	DDP	21年3月22日～6月30日	10,000	21年2月16日		落札	
KOEN	ヨンドン2号機	DDP	21年5月17日～8月15日	150,000	21年2月18日			
KOSPO	ハドン発電所	DDP	21年3～5月	30,000	21年1月25日		落札	韓国商社
KOWEPO	テアン発電所	DDP	21年2月1日～6月30日	5,000			落札	韓国商社
KOWEPO	テアン発電所	DDP	21年2月1日～6月30日	10,000	21年1月15日		落札	韓国商社
KOEN	ヨンドン2号機	DDP	21年2月1日～3月6日	15,000	21年1月5日		落札	韓国商社2社
KOWEPO	テアン発電所	DDP	21年2月1日～6月30日	15,000	20年12月31日		キャンセル	

OF0B 北米

北米積み木質ペレットは 4～5 月積みが 180.00 ～190.00 ドルと前週から 10.00 ドル高。需給引き締まりが相場を押し上げた。6 月積みも 180.00 ～190.00 ドルとなった。

欧州向け需要が引き続き堅調という。液化天然ガス(LNG)や石炭価格の高騰が続いており、比較的割安な木質ペレットを調達する動きが続いているようだ。

ロシアとウクライナ間の紛争が欧州向け木質ペレットの需給動向に影響を与えかねないとの見方が広がりつつある。欧州向けにはロシア西部からペレットが輸出されており、この供給が途絶えれば欧州での品薄感が一段と強まりそうだ。

欧州着価格はこのところ 250 ドル以上との声が聞かれる。条件によっては 300 ドル近いケースもあるようだ。

OCFR 日本

日本着木質ペレットは4~5月着は180.00~190.00ドルと前週からもち合い。6月着は180.00~190.00ドルとなった。

既報のとおり、FSC認証の一時停止処分を受けていたベトナムの大手供給業者は出荷を再開したと伝えられるものの、いまのところスポット商談は再開していないようだ。

一方、ロシアとウクライナ間の紛争によってロシア積み木質ペレットの供給懸念が強まっている。日本や韓国にも極東ロシア積み品が持ち込まれていることから、「今後、供給が途絶えることを想定し、東南アジアからの代替品調達も念頭に置いておく必要がある」(市場関係者)との声が聞かれる。

OFレート

ベトナムと日本間のレートは 50.00~55.00ドル、北米と日本間のレートは 55.00~65.00ドルといずれも前週と同水準で推移した。

◎PKS

○概況

インドネシア積みが上昇。調達コスト高を受けた売り手が唱えを切り上げている。マレーシア積みは前週から変わらず。ただ、雨季に伴う収集量の減少で先行き相場が上昇するとの見方も伝えられた。

OF0B 東南アジア

インドネシア積みPKSは4~5月積みが95.00~100.00ドルと前週から5.00ドル高となった。供給減少が背景。6月積みは95.00~100.00ドル。

インドネシア積みでは、スポット市場から売り手が漸減している様子。雨季に伴う収集量の減少で国内の調達コストは上昇傾向にあり、サプライヤーは積極的な販売打診を控えているようだ。サプライヤー1社はターム供給を優先しており、スポット商談入りには消極姿勢を示している。同社は今後引き合いを受けた場合、売りアイデアを100~105ドルで提示することを検討中だ。売り手が唱えを切り上げる一方、一部の買い手は95ドル程度での商談入りを希望している様子。インドネシア積みのスポット商談は95~100ドルで展開されているようだ。

インドネシアのジャンビやドゥマイなど複数の出荷港で供給に遅れや支障が発生し、一部のプレーヤーが輸出港の変更や積み時期の入れ替えに動

いた。これを受けて期近積みのスポット玉が消化されたとの見方も聞かれている。2月下旬にジャンビで出荷を予定していた商社1社は、別の輸出港から予定していた出荷分で供給を確保したという。一方、ドゥマイでは船の混雑が解消されておらず、引き続き1週間から10日ほどの滞船が発生していると伝えられた。市場関係者によると、出荷スケジュールを1カ月程度先送りしたプレーヤーもいたようだ。

このほか、一部のサプライヤーは第三者認証の取得を進めるとともに、認証取得や今後の更新にかかる費用を販売価格へと転嫁するための交渉を開始しているとの情報が寄せられた。実際の販売価格は伝えられていないものの、インドネシアにおける第三者認証取得済みPKSの商談水準は、未取得のPKSに比べ5ドルほど高いと一部の市場関係者はみている。

3月にインドネシアから荷積みされるPKSに賦課

される関税額は前月から据え置きとなった。3月積み
の関税は輸出税がトンあたり13ドル、パーム産
業目的基金（レビー）は同3ドルの計16ドル。インド
ネシア政府が2月24日に発表した粗パーム油（CPO）
基準価格は1432.24ドルと前月比117.46ドル上昇
した。これに基づき、PKSの輸出税はCPO基準価格
が1,250ドル以上の場合に適用されるトンあたり
13ドルとなった。

パーム油の国際取引価格は歴史的な高水準にあ
る。ロシアによるウクライナ侵攻により、黒海周
辺で植物油の供給が滞るとの懸念が広がったこと
で、植物油市場全体で供給懸念が強まっているも
ようだ。マレーシア取引所におけるCPOの先物価格
は1日、中心限月の5月限がトンあたり6,762リンギ
ットと最高値を更新した。PKSの需給や相場への直
接的な影響は聞かれないものの、「CPO国際市況の
高騰で、PKSへの輸出税は当面、制度上の最高額の
13ドルが維持される」（市場関係者）との見方が寄
せられた。

マレーシア積みPKSは4～5月積みが88.00～
90.00ドルと前週から変わらず。6月積みは88.00
～90.00ドルとなった。

マレーシアでは、供給の混乱や出荷の遅延など
は発生しておらず、需給環境に変動はない様子。
ただ、雨季に伴いサプライヤーの収集量が減少し
ていることや、インドネシア積み相場の上昇を受け
て、マレーシアのサプライヤーが販売価格の切り
上げに動き、相場が近く上昇するとみる向きも
いた。

インドネシアやマレーシアでは2月25日、インド
ネシアのスマトラ島中部を震源とする地震が発生。
震源地に近い西スマトラ州で強い揺れが観測され
たほか、マレー半島西部でも揺れが観測されたも

よう。いまのところ地震の影響による供給障害は
伝えられていない。

インドネシア積みPKS関税の推移			
(ドル/トン)	輸出税	レビー	合計
20年1月	7	10	17
20年2月	11	10	21
20年3月	10	10	20
20年4月	7	10	17
20年5月	7	10	17
20年6月	7	15	22
20年7月	7	15	22
20年8月	7	15	22
20年9月	7	15	22
20年10月	10	15	25
20年11月	10	15	25
20年12月	13	7	20
21年1月	18	7	25
21年2月	20	7	27
21年3月	20	7	27
21年4月	22	7	29
21年5月	24	7	31
21年6月	28	7	35
21年7月	22	3	25
21年8月	20	3	23
21年9月	26	3	29
21年10月	26	3	29
21年11月	30	3	33
21年12月	30	3	33
22年1月(1月12日～)	13	3	16
22年2月	13	3	16
22年3月	13	3	16

（リム情報開発が作成）

OCFR 日本

日本着 PKS は 4～5 月着が 140.00～145.00 ドル
と前週から張り付いた。6 月着は 140.00～145.00
ドル。

既報のとおり、九州の発電事業者 1 社が 4 月中
旬着 1 万トン、北海道の発電事業者 1 社が 10 月～

2023年3月着分計9万トンのスポット調達をそれぞれ検討中と伝えられていたが、成約に至ったとの情報は伝えられていない。売り手1社はスポット販売余力がなく、いずれの商談も参加を控えたという。同社はターム供給に注力していることに加え、スポット船の確保が困難なことから販売価格の提示が出来ず、市場から退いている。

大手電力会社が出資し、今年運転開始を予定している中国地方のバイオマス発電所は現在試運転を実施している。同発電所は3月の運転開始を予定していたが、試運転期間を延長し、運転開始時期を4月に先送りする計画のようだ。一方、使用する燃料の供給遅延は発生していない様子。この発電所ではPKSおよび木質ペレットを燃料として使用し、年間消費量は20万トンとなる見通し。

〇フレート

インドネシアと日本間、マレーシアと日本間のフレートは50.00~55.00ドルと前週からもち合った。近海船の需給は依然として引き締め感強い様子。インドネシアの複数の出荷地で遅延や輸出港の振替が発生したことで、船のスケジュール

ルに混乱が生じ、傭船可能な船数が漸減しているとの見方も聞かれている。日本商社1社は空船の確保が困難なことから、PKSのスポット商談そのものを控えていると述べた。

◎国内市場

〇市況(3月3日時点)

未利用材チップは10,000~11,000円、一般材チップは7,500~9,500円と前週から横ばい。

〇トピックス

【東北】

山形県にある小規模バイオマス発電所(出力1,960kW)が3月中に試運転を始めるようだ。この発電所は木材から水素ガスを発生させ、ガスタービンで発電する方式だ。数年前に事故が発生し、稼働開始時期が大幅にずれ込んでいた。2021年に一度試運転を行ったが、装置に不具合がみつかり、一部装置の大掛かりな改良工事を行っていたようだ。このほど改良工事が完了したという。

ただし、そのまま営業運転までこぎつけられるかは不透明だ。この発電所は木材から水素ガスを発生させる高度な技術を使っている。発電効率に優れているが、安定的に稼働させるのが難しいという。関係者によると、まだまだ試行錯誤を繰り返す必要があるようだ。

なお、この発電設備は年間2万5,000トンほどの未利用材を燃料に使用する。燃料の供給は長期契約を結んでおり安定しているという。ただ、周

辺では木材の不足が叫ばれている。豪雪の影響で森林からの間伐材の伐出や運搬が滞ったことなどが木材の不足につながっているようだ。

【九州】

佐賀県では未利用材の供給余力が限定的だ。県内で稼働するバイオマス発電所は1カ所だけ。近隣で発生する未利用材は現状この既存発電所向けだけで粗方消化されているという。足元は佐賀県内、隣接する福岡県も含めて新規のバイオマス発電事業計画が数件持ち上がっている。これらの計画は輸入燃料主体の案件もあるが、未利用材由来のチップも一部使われる方向で、今後は未利用材の需給がさらに引き締まるとの見立てがある。

業界関係者が注視するのはウクライナ情勢の影響だ。いまのところ具体的な影響はないが、経済制裁でロシアの木材輸出が減少すれば、国産材の代替需要が増加。製材、合板向けに流れる国産材

が増え、相対的に未利用材が集めにくくなる可能性がある。

佐賀県内の未利用材価格はチップ工場届けのトンあたり 7,500 円程度で推移。再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT)の売電価格から逆算した取引価格となっている。ただ、最近は需給のタイト感から相場上昇の気配も見え隠れ。国有林の入札も落札水準が上昇している。

このほか最近の九州では北部と南部で価格の乖離が出始めている。主要な輸出港がある南部では

未利用材が届け 9,000 円台など出力 2,000kW 以下の小規模バイオマス発電所では採算性を見出しにくい取引が一部始まっているという。旧正月などで一時鈍化していた中国向けの輸出が回復しているためだ。足元はウッドショックの余韻で海外市況が高く、林業家の間では未利用材の一定量が相対的に実入りの良い輸出に回されやすくなっている。ウクライナ情勢の緊迫で海外市況が上昇すれば、国内でも輸出優先の傾向に拍車がかかる可能性もある。

(註) 国内市場の項目では、動きのある地域的话题を随時掲載して参ります。

◎マーケット・ニュース

○インドネシア=1月のPKS輸出は34.6万トン、前年比30.2%増

インドネシア中央統計庁(BPS)によると、同国の1月パーム椰子殻(PKS)輸出は34万5,707トン、前年同月比30.2%増加した。輸出単価はトンあたり96.78ドルでほぼ前年同月並みだった。

インドネシアのPKS輸出実績(トン)				
	2020年	2021年	2022年	前年同期比(%)
1月	215,971	265,516	345,707	30.2
2月	204,689	327,629		
3月	281,435	399,061		
4月	223,747	236,073		
5月	260,504	261,040		
6月	258,235	223,389		
7月	294,213	346,436		
8月	324,195	367,706		
9月	247,454	370,262		
10月	181,208	391,704		
11月	344,996	412,464		
12月	329,200	398,576		
(1月計)	215,971	265,516	345,707	30.2
注: PKS=パーム椰子殻				
出所: インドネシア中央統計庁				

○神鋼環境=下水汚泥からバイオマス燃料生産、京都府福知山市で

神鋼環境ソリューションは2日、京都府福知山市で下水汚泥から固形のバイオマス燃料を生産すると発表した。松村組と構成する共同企業体がこのほど日本下水道事業団から市内にある既存下水処理設備の改築、汚泥燃料化設備の導入工事を55億円で受注した。同企業体は設備の設計からバイオマス燃料の生産まで一貫して手掛け、得られたバイオマス燃料は神戸製鋼所グループの発電所で活用する考えだ。

○中部電力=岐阜のバイオマス発電所が着工、23年10月運開へ

中部電力は1日、佐合木材、三菱HCキャピタルと共同出資する美濃加茂バイオマス発電所が同日付で「美濃加茂バイオマス発電所」(岐阜県美濃加茂市、出力7,100kW)を着工したと発表した。県産の未利用材由来の木質チップを主な燃料とする発電所で、2023年10月の運転開始を予定している。

○奥村組=福島で木質バイオマス発電、四電らと6月運開

奥村組は2月28日、木質バイオマス発電事業を手掛ける「平田バイオエナジー」を四国電力、岩堀建設工業と共同設立したと発表した。福島県平田村にバイオマス発電所を建設する。この発電所は出力1,990kWの発電機を2基設置し、1号機は2022年6月、2号機は23年4月にそれぞれ運転開始する予定。燃料は近隣で発生した間伐材などに由来する木質チップを使う。平田バイオには奥村組が56%、四電が39%、岩堀建設が5%を出資している。

○日鉄エンジ=下水汚泥をバイオマス燃料に、愛媛県で25年10月から

日鉄エンジニアリングは2月28日、愛媛県松山市から下水汚泥の燃料化事業を受注したと発表した。同市の下水処理施設「西部浄化センター」内に汚泥のペレット化設備を導入。生産したペレットはバイオマス燃料として利用する。下水汚泥の処理量は日量90トン。ペレットの生産期間は2025年10月1日～45年3月31日を予定している。

○イーレックス=バイオマス燃料子会社を吸収合併、経営効率向上へ

イーレックスは2月24日、完全子会社の豊前バイオマスセンターを吸収合併すると発表した。同センターはイーレックスグループの「豊前バイオマス発電所」(福岡県豊前市、出力7万4,950kW)へのバイオマス燃料供給を手掛ける。吸収合併を通じ経営効率を高める。吸収合併は4月1日を予定。イーレックスが存続会社となる。

◎統計

○日本の国別・地域別木質ペレット輸入量、輸入単価22年1月

日本の国別・地域別木質ペレット輸入量、輸入単価 2022年1月 為替レート 114.93

国別・地域別	22年1月			21年12月	21年1月
	数量(mt)	円/mt	ドル/mt	数量(mt)	数量(mt)
ベトナム	184,879	19,819	172.44	202,025	151,068
カナダ	117,554	23,977	208.62	58,543	44,555
マレーシア	10,804	20,724	180.32	11,880	16,699
ロシア	6,800	22,088	192.18	0	0
インドネシア	1,087	21,276	185.12	11,161	514
中国	50	71,800	624.73	89	111
エストニア	23	35,478	308.69	51	0
スウェーデン	0	0	0.00	8	0
米国	0	0	0.00	0	26,705
ドイツ	0	0	0.00	10	0
合計	321,197	21,433	186.49	283,767	239,652

(出所)財務省貿易統計

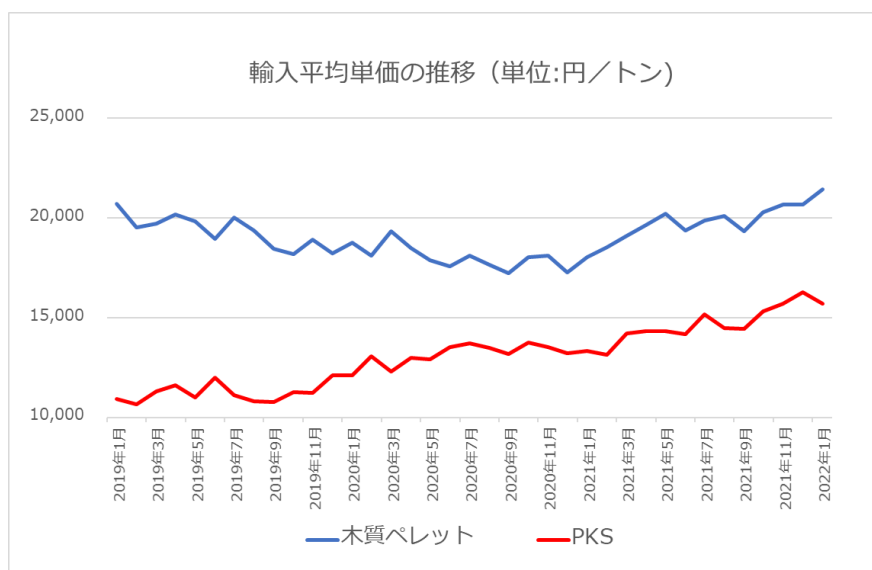
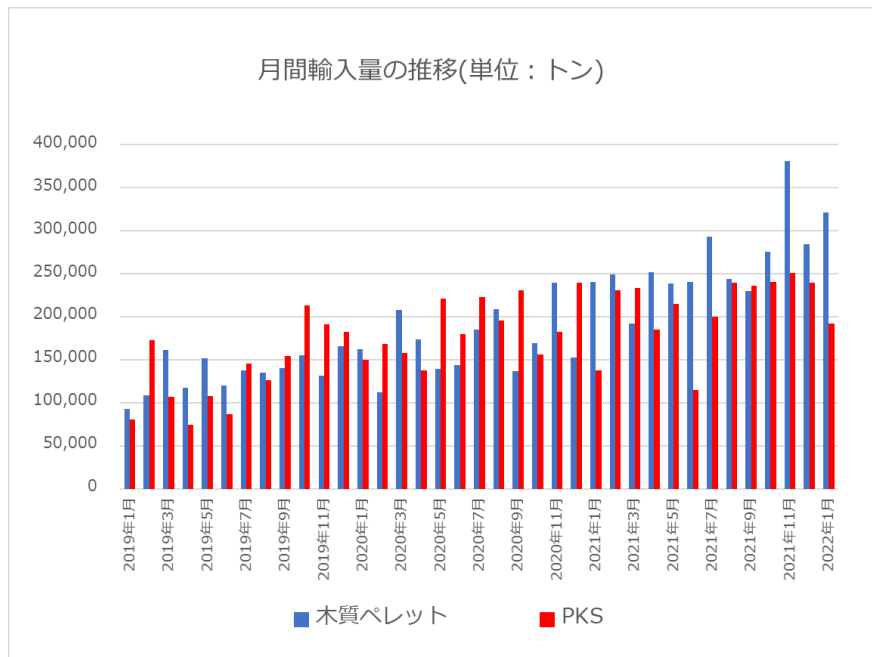
○日本の国別・地域別PKS輸入量、輸入単価22年1月

日本の国別・地域別PKS輸入量、輸入単価 2022年1月 為替レート 114.93

国別・地域別	22年1月			21年12月	21年1月
	数量(mt)	円/mt	ドル/mt	数量(mt)	数量(mt)
インドネシア	117,174	15,939	138.68	215,593	87,246
マレーシア	74,603	15,334	133.42	23,788	50,263
合計	191,777	15,704	136.64	239,381	137,509

(出所)財務省貿易統計

〇月間輸入量と平均単価推移



(出所)財務省貿易統計

〇日本の港別木質ペレット輸入量、輸入単価22年1月

22 年 1 月木質ペレット輸入実績－港別・国別 財務省・貿易統計				
木質ペレット				
揚げ地	仕出国	2022 年 1 月		
		数量(mt)	価額(千円)	単価(円/mt)
東京(本関)	中国	5	356	71,200
	ベトナム	553	14,420	26,076
	合計	558	14,776	26,480
横浜(本関)	中国	5	374	74,800

	ベトナム	209	4,437	21,230
	インドネシア	545	11,705	21,477
	カナダ	46	1,812	39,391
	合計	805	18,328	22,768
日立	ベトナム	25,212	463,331	18,377
小名浜	ベトナム	7,770	151,368	19,481
	カナダ	56,331	1,339,453	23,778
	合計	64,101	1,490,821	23,257
相馬	カナダ	6,318	163,814	25,928
仙台塩釜	中国	5	379	75,800
石巻	ベトナム	9,529	201,859	21,184
神戸(本関)	ベトナム	52	1,463	28,135
	インドネシア	26	525	20,192
	カナダ	119	4,882	41,025
	合計	197	6,870	34,873
福山	マレーシア	254	4,285	16,870
松山	中国	3	229	76,333
大阪(本関)	中国	24	1,630	67,917
名古屋(本関)	中国	5	415	83,000
	インドネシア	259	5,249	20,266
	エストニア	23	816	35,478
	合計	287	6,480	22,578
四日市	ベトナム	13,500	265,920	19,698
荻田	ロシア	6,800	150,195	22,088
下関	ベトナム	10,200	231,898	22,735
宇部	カナダ	6,702	166,158	24,792
徳山	カナダ	12,788	317,013	24,790
鹿児島	ベトナム	6,310	106,363	16,856
志布志	インドネシア	26	592	22,769
	カナダ	52	1,570	30,192
	合計	78	2,162	27,718
苫小牧	ベトナム	236	5,454	23,110
	インドネシア	206	4,519	21,937
	カナダ	261	7,794	29,862
	合計	703	17,767	25,273
小樽	中国	3	207	69,000
釧路	ベトナム	17,442	376,049	21,560
八戸	マレーシア	322	5,600	17,391
	インドネシア	25	537	21,480
	合計	347	6,137	17,686
沖縄(本関)	ベトナム	19	642	33,789
	総計	182,185	4,013,313	22,029
出所:財務省・貿易統計				

○日本の港別PKS輸入量、輸入単価22年1月

22年1月PKS輸入実績－港別・国別 財務省・貿易統計				
PKS				
揚げ地	仕出国	2022年1月		
		数量(mt)	価額(千円)	単価(円/mt)
成田	マレーシア	1	750	750,000
直江津	インドネシア	105	3,470	33,048
衣浦	マレーシア	19,990	303,850	15,200
徳山	マレーシア	10,222	182,224	17,827
鹿児島	マレーシア	10,001	131,818	13,180
	総計	40,319	622,112	15,430
出所:財務省・貿易統計				

◎入札情報

開札日	公開日	主体	場所	数量kg	用途	契約期間	落札者	単価/kg 税抜/円	入札 方法
2021年度									
2/24(水)	2/5(金)	秋田市	市本庁舎など4カ所	150,800	空調、ボイラーなど	2021/4/1～2022/3/31	北秋容器	55.0	一般競争
3/22(月)	2/26(金)	鳥取県	西部総合事務所	140,000	ボイラー用	2021/4/1～2022/3/31	赤崎トランスネット	65.0	一般競争
3/22(月)	3/2(火)	山形県	北村山地域振興局	86,400	ボイラー用	2021/4/1～2022/3/31	非公開	-	一般競争
3/29(月)	3/11(木)	福井県	芦原青少年の家	30,000	ボイラー用	2021/4/1～2022/3/31	坂井森林組合	45.0	一般競争
4/22(木)	4/9(金)	福井県	上志比文化会館など2カ所	47,500	ボイラー用	契約締結日～2022/3/31	福井環境エコノス	35.0	指名競争
6/21(月)	6/1(火)	山形県	庄内総合支庁	125,000	ボイラー用	契約締結日～2022/3/31	非公開	-	一般競争
7/1(木)	6/24(木)	札幌市	小中学校11カ所	399,000	ボイラー用	2021/10/1～2022/3/31	イワクラ	53.5	一般競争
9/14(火)	8/6(金)	環境省	関東地方環境事務所管内9カ所	18,700	ボイラー用	契約締結日～2022/3/31	ニッチ	87.2	一般競争
9/14(火)	8/6(金)	環境省	関東地方環境事務所田貫湖ふれあい自然塾	15,600	ボイラー用	契約締結日～2022/3/31	富士総業	53.0	一般競争
10/14(木)	9/14(火)	岩手県	一戸高等学校	24,000	ボイラー用	2021/11/1～2022/3/31	未開札	-	一般競争
10/11(月)	10/5(火)	札幌市	山本処理場	20,000	ボイラー用	契約締結日～2022/3/31	イワクラ	53.5	公開見合せ
10/12(火)	10/7(木)	広島市	市内小中学校11カ所	2,580	ボイラー用	契約締結日～2021/11/1	太田川森林組合	95.0	競争見積り
10/27(水)	10/11(月)	福井県	総合グリーンセンター	78,400	ボイラー用	契約締結日～2022/3/31	中西木材	46.0	一般競争
10/28(木)	10/21(木)	札幌市	円山動物園	52,500	ボイラー用	契約締結日～2022/3/31	イワクラ	53.5	一般競争
11/1(月)	10/25(月)	札幌市	白石複合施設	24,000	ボイラー用	契約締結日～2022/3/31	イワクラ	54.5	公開見合せ
開札日	公開日	主体	場所	数量kg	用途	契約期間	落札者	単価/kg 税抜/円	入札 方法
2022年度									
2/24(木)	2/4(金)	秋田市	市本庁舎など4カ所	152,040	空調、ボイラーなど	2022/4/1～2023/3/31	北秋容器	60.0	一般競争
3/16(水)	2/18(金)	北海道	社会福祉事業団太陽の園	14,000	ボイラー用	2022/4/1～2023/3/31	未開札	-	一般競争
3/22(火)	3/1(火)	山形県	北村山地域振興局	90,000	ボイラー用	2022/4/1～2023/3/31	未開札	-	一般競争

◎『クリーンエネルギーレポート』創刊号発刊のお知らせ

リム情報開発は2021年1月19日、週刊『クリーンエネルギーレポート』の創刊号を発刊しました。

週刊『クリーンエネルギーレポート』では、アンモニアの価格評価に加え、水素、エタノールなど炭素を含まないエネルギーや、排出権取引情報など幅広いトピックスを取り上げます。新型コロナの感染拡大が続く中、脱炭素エネルギーに対する関心が高まっています。『クリーンエネルギーレポート』では、国内外の最新情報を随時掲載していきます。

お申し込みは以下のURLからお願いいたします。下記のURLからは、12月に発刊しました「プレ創刊号」も試読頂けますので是非お目通しください。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/ce1/>

ご購入につきましてご不明な点、ご質問がありましたらお気軽にお問い合わせください。



ご質問は クリーンエネルギーレポートチームまでお願いいたします。

電話：03-3552-2411 E-mail: info@rim-intelligence.co.jp



※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をを用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

事業所一覧

[東京本社]

Tel:03-3552-2411, Fax:03-3552-2415

e-mail: info@rim-intelligence.co.jp

[シンガポール支局]

Tel: (65)-6345-9894, Fax (65)-6345-9894,

e-mail: hagimoto@rim-intelligence.co.jp

[北京支社]

Tel: (86) 10-6498-0455, Fax: (86) 10-6428-1725

e-mail: guanhong@rimbj.com

[上海支社]

Tel: (86)-21-5111-3575, e-mail: rim_sh@rim-intelligence.co.jp

(C) 2022 RIM INTELLIGENCE CO.

お申し込み >

試読 >